

三井住友アセットマネジメント株式会社 企画部
東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 28 階 〒105-6228
Tel. 03-5405-0555 Fax. 03-5405-0666 <http://www.smam-jp.com>

フィデューシャリー・デューティー宣言、フィデューシャリー・アクションプランの更新 および第3回 FD 第三者委員会提言について

三井住友アセットマネジメント株式会社（SMAM：Sumitomo Mitsui Asset Management 代表取締役社長 横山 邦男）は、このたび、フィデューシャリー・デューティー宣言、フィデューシャリー・アクションプランを更新し、一層充実した内容いたしました。更新した内容について、直近開催の第3回 FD 第三者委員会の提言とあわせて下記のとおりご報告いたします。

SMAM は「運用責任を全うする」べく、フィデューシャリー・デューティー宣言の実践と見直しを継続し、お客さまに最高品質の資産運用サービスをお届けします。

記

1. フィデューシャリー・デューティー宣言の更新

2015年8月27日公表のフィデューシャリー・デューティー（FD）宣言における各分野の方針に、新たに以下の4項目を追加しました。当該4項目は、FD宣言の内容を「基本規程」として制定した際、一層の充実を図るため追加したものです。更新後のFD宣言全体像は[別紙1](#)をご参照ください。

運用

- お客さまの資金の性格に沿った運用を行います
- お客さまにとってわかりやすい運用方針・状況の説明を行います

お客さまサービス

- 常にお客さまにとってのわかりやすさを優先します

経営インフラ

- 常に生産性の向上を追求します

2. フィデューシャリー・アクションプランの更新

2016 年度経営計画の施策の中から主な 8 項目をフィデューシャリー・アクションプランに追加しました。また、追加項目と内容が重複する既存のアクションプラン 3 項目を削除しました。

更新後のフィデューシャリー・アクションプラン全体像については[別紙 2](#)をご参照ください（その他の項目についても、内容と実施時期をアップデートしております）。

なお、今後は経営計画と連動させ、実施状況の公表時期を従来の 2 月/8 月から、4 月/10 月に変更します。

(1) 追加

運用	実施時期
債券運用およびアセットアロケーション体制の抜本の見直しを行います	2016 年 9 月
クオンツ（計量的分析）の開発・運用機能を見直し、クオンツ運用を強化します	2017 年 3 月

商品開発	実施時期
お客さまにわかりやすい「分配に関する基本方針」※を策定し、見直しを行ってまいります	実施中
※ ファンドの分配に関する基本的な考え方をわかりやすく纏めたもの	
アジア地域ファンドパスポート向け商品開発を行います	実施中

お客さまサービス	実施時期
DC（確定拠出年金）ファンドシリーズの一般販売を拡充します	実施中
資産形成初心者の皆さまのご理解のため、「ビギナーズバック」※を活用した啓蒙活動を広く展開します	実施中
※ コミックス「インベスター Z」のキャラクターを使ったわかりやすい解説書やカードゲームなど当社がこれまで開発した資産形成初心者向けの一連のツール群	
商品部にプロダクトスペシャリスト※を新たに配置し、運用商品の説明、お客さま目線によるコンサルティングを行います	実施中
※ 運用の豊富な知識・経験を持つ個別商品に詳しい専門集団。営業でも運用でもない商品部に在籍し、中立的立場からお客さまのコンサルティングを実施	

経営インフラ	実施時期
F D 宣言を規程化した「基本規程」を制定し、基本規程に基づく業務の抜本の見直し※に着手しました	実施中
※ F D 宣言の方針を当社の最上位規程「基本規程」として 2016 年 2 月に制定し、基本規程を踏まえ「運用責任を全うする」べく、全部署の業務マニュアルを見直し中	

(2) 削除

お客さまサービス	実施時期
投資初心者の方のため、コミックス「インベスター Z」を使ったわかりやすい解説書の作成を開始しました	実施中
投資初心者の方の資産形成にお役に立つ投資啓蒙活動を推進します	実施中

経営インフラ	実施時期
内部統制レベルの向上に向け、業務全般の見直しに着手しました	実施中

3. 第3回 FD 第三者委員会の提言概要

第3回FD第三者委員会を開催しましたので、概要について以下のとおり報告します。

開催日：2016年4月19日

テーマ：①株主会社との利益相反関係について

②2016年度経営計画について

③分配に関する基本方針について（2016年4月25日公表済。プレスリリースは[こちら](#)）

提言の概要：

① 株主会社との利益相反関係について

フィデューシャリー・デューティーの主要な論点である利益相反関係、特に株主会社との利益相反関係について議論され、以下の提言がなされました。

- SMAM が運用責任を全うし新たな市場を創出する為には、株主会社との利益相反でお客さまに不利益が生じる可能性を極力排除するべき。
- 従って、当該利益相反関係を生じさせないガバナンス体制を構築することが、SMAM の業績発展による株式価値の増大につながり、株主会社の利益に資する。
- 投資先に対してガバナンス強化を求める資産運用会社は、自らもしっかりとしたガバナンス体制を構築する必要がある。これを大手公的年金は運用委託先を審査する一つの観点と見ている。
- 利益相反防止の成否は、経営陣の選定や経営判断において、いかに株主会社からの独立性を保つ仕組みを作れるかに大きく依存しており、社外役員を含め取締役及び CEO の株主会社からの独立性の確保などが望まれる。株主会社からの役員派遣枠の適否につき、委員から疑義が投げかけられた。
- 株主会社との利益相反関係については今後も継続検討することとなった。

② 2016年度経営計画について

2016年度経営計画の各種施策について、以下の確認および提言がなされました。

- 全ての施策について基本規程の基本方針に沿った内容であることが確認された。
- その他 FD の浸透を図る為の手段、事務リスク防止に関する意見が出された。

③ 分配に関する基本方針について

お客さまのご理解のため、ファンドの分配に関する基本的な考え方をわかりやすく纏めた「分配に関する基本方針」（案）を策定し、これに対して委員から以下の提言がありました。当方針は提言を踏まえた内容で4月25日に公表済です。プレスリリースは[こちら](#)

- 投信業界の抱える問題に鑑みると、分配原資をどこまで具体的にわかりやすく記載できるか、そこへの投資家の理解を深められるかが、資産運用会社の FD への取り組みの真剣度が見て取れる肝である。
- わかりやすさの観点から複数の意見が出され、プレスリリースの内容を修正することとした。

以上



Press Release 2016/4/27
from 三井住友アセットマネジメント株式会社

本件に関するお問い合わせ先

三井住友アセットマネジメント株式会社 企画部

新保 Tel.03-5405-3239

鈴木 Tel.03-5405-0583

三井住友アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 399 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

フィデューシャリー・デューティー宣言

～わたしたちは運用責任を全うします～

運用

- 運用技術を駆使し、お客さまの資産形成に貢献します
- お客さまの資金の性格に沿った運用を行います
- お客さまにとってわかりやすい運用方針・状況の説明を行います
- 日本を含むアジアの運用力で世界トップを実現します
- S R I、E S G投資（※）で日本のトップランナーを目指します

商品開発

- 常にグローバル水準で優れた商品を提供します
- お客さまのニーズを的確に捉えた商品開発を行います
- お客さまにご納得いただける合理的な手数料を設定します

お客さまサービス

- 未永くご愛顧賜るため、最大限の真心でお客さまサービスを行います
- お客さまのお役に立つ適切な情報と資産形成の機会を提供します
- お客さまにとって適切と判断できない商品は決して提供しません
- 常にお客さまにとってのわかりやすさを優先します

経営インフラ

- 経営全般における透明性を確保します
- 人材、システム、内部統制の全てでグローバル水準を実現します
- 業務全般の品質改善に取り組み、クオリティN o 1を実現します
- 常に生産性の向上を追求します

※ S R I : Socially responsible investment (社会的責任投資)
E S G投資 : Environmental (環境)、Social (社会)、Governance (企業統治) を重視する投資

～フィデューシャリー・アクションプラン～

運用	実施時期
日本株アクティブ運用を中心に運用人材を大幅に増強中です	実施中
日本版スチュワードシップコードの受け入れを表明し、長期投資のための株式リサーチ体制の強化を順次、進めています	実施中
企業との目的を持った対話活動を進め、エンゲージメント投資を開始しました	実施中
特に、社会の発展に資するS R I、E S G投資に積極的に取り組みます	実施中
社会資本形成に資する長期投資の機会を提供するためインフラ投資を拡充します	実施中
アジア株運用の中心拠点を香港に移し、グローバル競争力のある運用体制を構築します	実施中
充実した海外ネットワークを活用し、グローバル債券運用を拡充します	実施中
債券運用およびアセットアロケーション体制の抜本的見直しを行います	2016年9月
クオンツ（計量的分析）の開発・運用機能を見直し、クオンツ運用を強化します	2017年3月
自社資金を活用し、新規ファンドの開発を積極的に行います	実施中
トレーディング機能を高度化し、取引執行コストを縮減します	実施中

商品開発	実施時期
商品企画に特化した専門部署を新設し、商品開発基本方針を策定しました	実施済
お客さまニーズにきめ細かく対応するため、商品開発プロセスの見直しを行いました	実施済
お客さまにご納得いただけるよう、「運用報酬に関する基本方針」※を策定し、見直しを行ってまいります	実施中
※ 運用報酬設定に関する基本的な考え方をわかりやすく纏めたもの	
お客さまにわかりやすい「分配に関する基本方針」※を策定し、見直しを行ってまいります	実施中
※ ファンドの分配に関する基本的な考え方をわかりやすく纏めたもの	
グローバル水準の商品の品揃えのため、海外運用会社の調査と商品開発のラインを一本化しました	実施済
アジア地域ファンドパスポート向け商品開発を行います	実施中
日興グローバルラップ社を買収し、海外運用会社の調査機能を大幅に拡充しました	実施済
日興グローバルラップ社と協働し、先端分野・新分野の商品開発を行っています	実施中
E S G運用を組み入れた長期投資向けのプロダクトを開発します	実施中

お客さまサービス	実施時期
インターネットによる公募投信の直接販売を開始しました	実施済
DC（確定拠出年金）ファンドシリーズの一般販売を拡充します	実施中
資産形成初心者の皆さまのご理解のため、「ビギナーズパック」※を活用した啓蒙活動を広く展開します ※ コミックス「インベスター Z」のキャラクターを使ったわかりやすい解説書やカードゲームなど当社がこれまで開発した資産形成初心者向けの一連のツール群	実施中
お客さまの金融リテラシー向上をお手伝いさせて頂くとともに当社商品を一層ご理解いただけるよう資産運用サポート部を設置しました	実施済
商品部にプロダクトスペシャリスト※を新たに配置し、運用商品の説明、お客さま目線によるコンサルティングを行います ※ 運用の豊富な知識・経験を持つ個別商品に詳しい専門集団。営業でも運用でもない商品部に在籍し、中立的立場からお客さまのコンサルティングを実施	実施中
お客さまのご理解のため、信託報酬等の手数料差引後の収益率イメージの明示を順次、進めてまいります	実施中
ユニバーサルデザインによるわかりやすい目論見書、報告書の作成を開始しました	実施中
日々のお客さまサービスについてのプロセス検証・管理を強化します	実施中
わかりやすく使いやすいホームページに 2016 年 4 月 1 日に改訂しました	実施済
ホームページ上での運用担当者による運用状況の動画説明を開始しました	実施中
お客さまの声を直接うかがい、継続的なサービス改善に努めます	実施中

経営インフラ	実施時期
お客さまへのよりわかりやすい情報提供、および運用とリスク管理の高度化に向けたシステム開発を開始しました	実施中
コスト削減による信託報酬の引き下げを目的として、システムの抜本的な見直しに着手しました	実施中
高度専門人材の採用を可能とする人材報酬体系を構築しました	実施済
FD宣言を規程化した「基本規程」を制定し、基本規程に基づく業務の抜本的見直し※に着手しました ※ FD宣言の方針を当社の最上位規程「基本規程」として 2016 年 2 月に制定し、基本規程を踏まえ「運用責任を全うする」べく、全部署の業務マニュアルを見直し中	実施中
産学連携によるビッグデータなど先端分野の研究を開始しました	実施中
利益相反関係等、フィデューシャリー・デューティー全般をチェックする第三者機関のしくみを導入し、外部委員による提言と対応を開示しています	実施中
社外役員の独立性を確保します	2016 年度
お客さま向けに当社オフィスツアーを開催し、運用プロセスの見える化を図ります	実施中
フィデューシャリー・アクションプランの実施状況を半年ごとに公表いたします (なお、今後は実施状況を 4 月/10 月に公表いたします)	実施中